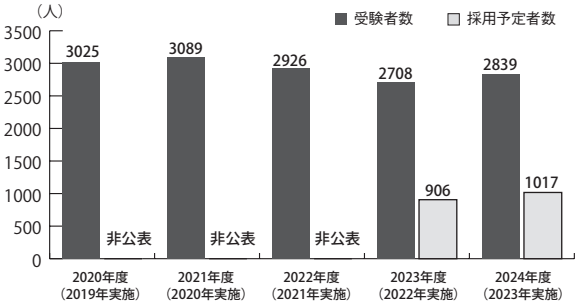
File No. 01

❋ 北海道・札幌市

面　積	83,422㎢
人　口	5,061,620人
道の花	ハマナス
道の木	エゾマツ
道の鳥	タンチョウ

求める教員像	・教育者として，強い使命感・倫理観と，子どもへの深い教育的愛情を，常に持ち続ける教員 ・教育の専門家として，実践的指導力や専門性の向上に，主体的に取り組む教員 ・学校づくりを担う一員として，地域等とも連携・協働しながら，課題解決に取り組む教員
出願期間	公開日　3月25日（月）　電子申請　4月8日（月）～5月2日（木）17:00 郵送　4月8日（月）～5月2日（木）〈簡易書留・消印有効〉
試験日程	1次試験　試験日　6月16日（日）　　合格発表日　7月19日（金） 2次試験　試験日　8月2日（金）～4日（日）　※札幌市は8月3日（土）・4日（日）　合格発表日　9月27日（金）
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	**〈北海道〉［小］　［中］**国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語　**［高］**国語，地理歴史（地理，日本史，世界史），公民（倫理，政治経済），数学，理科（物理，化学，生物，地学），保健体育，音楽，英語，家庭，情報，農業（生産，環境），工業（機械，電気（電子・情報技術を含む），建築，土木，工業化学），商業，水産，看護，福祉　**［特］**（小）（中）［中］と同じ教科（高）［高］から農業（環境），工業（電気（情報技術），建築，土木，工業化学），水産，看護を除く　**［養］　［栄］　〈札幌市〉［小幼］　［中高］**北海道の［中］と同じ教科　**［高］**北海道の［高］から農業，工業，水産，看護，福祉を除く　**［特］**（小）（中高）北海道の［中］と同じ教科　**［養］　［栄］**
特記事項	**〈北海道〉■一般選考（地域枠）**［小・中］志願者で日高，宗谷，オホーツク又は根室管内のいずれかに限って勤務できる者は，1次の教職・一般を免除し，レポートを提出。**■特別選考　●障がい者特別選考**　必要に応じて適性検査及び実技の一部又は全部を免除。**●スポーツ・芸術特別選考**　スポーツや芸術等で秀でた技能・実績を有する者は，1次を免除。2次は技能・実績に密接に関連する実技を免除。**●工業・水産特別選考**　［高］工業，水産志願者で規定の資格所有者は，1次の専門（I）を免除。**●社会人特別選考**　特定教科・科目志願者で規定の資格・実務経験を持つ者は，1次の専門を免除。英語は2次の実技も免除。**●現職教員特別選考**　道内公立以外の現職教員で，規定の勤務実績がある者は，1次を免除。**●登録辞退者等特別選考**　令和3～5年度実施の選考検査の採用候補者名簿（北海道分）に登録された者のうち，登録又は採用を辞退した者は，1次及び2次の適性検査，教科等指導法，実技を免除。**●期限付教員特別選考**　期限付教員で規定の勤務実績がある者は，1次及び2次の実技を免除。**●退職教員特別選考**　過去に道内公立学校の正規教員であった者で，規定の要件を満たす者は，1次を免除。**●教職大学院修了者特別選考**　教職大学院を修了した（修了予定の）者は，1次を免除。**●セカンドキャリア特別選考（教育職員免許状取得者対象）**　規定の要件を満たす者は，1次の教職・一般を免除。**●セカンドキャリア特別選考（教育職員免許状非取得者対象）**　規定の要件を満たす者は，1次の教職・一般を免除，専門を実施せず，論文を実施。2次は適性検査及び面接のみ。**〈札幌市〉■特別選考　●障がい者特別選考**　必要に応じて適性検査及び実技検査の一部又は全部を免除。**●現職教員特別選考**　道内公立以外の現職教員で，規定の勤務実績がある者は，1次を免除。**●前年度成績優秀者特別選考**　前年度選考検査の2次で不合格になった者のうち，一定の基準を満たした者は，1次を免除。**●札幌市退職教員特別選考**　札幌市立の正規教員であった者で，規定の勤務実績がある者は，1次を免除。**●臨時教員特別選考**　札幌市立の常勤の臨時教員として規定の勤務実績がある者は，1次の教職・一般を免除。**●前倒し合格者特別選考**　前年12月の「前倒し選考検査」で合格となった者は，1次の教職・一般を免除。

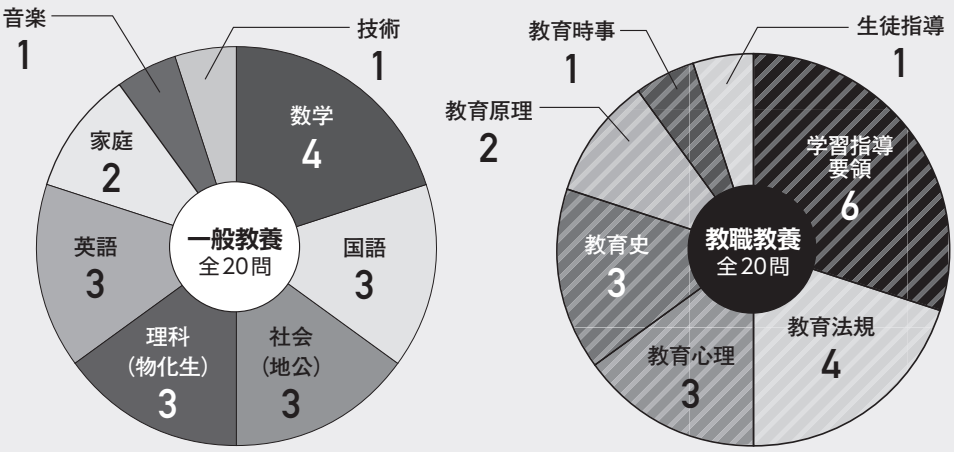
▼受験者数等推移（北海道）



▼令和４年度　問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数（北海道）

	小学校	中学校	高等学校
いじめ（件）	28,453	4,522	1,422
不登校（人）	3,729	8,591	1,119

2025年度（2024年実施）筆記試験DATA



- ▶学習指導要領で必出の総則
- ▶生徒指導で必出の「生徒指導提要」
- ▶人文科学は国語（現代文読解）と英語（単語，文章読解）

〈教職教養〉は例年，五択形式で幅広い分野から出題されていたが，今年度は小学校資格認定試験Ⅰを流用したことに伴い，四択形式に変更された。

学習指導要領は総則を中心として毎年出題されている。今年度は総則の「第3 教育課程の実施と学習評価」から「1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」と「第4 生徒の発達支援」から「1 生徒の発達を支える指導の充実」が，それぞれ出題された。また，総合的な学習の時間や特別の教科道徳，特別活動のほか，教育課程の変遷に関する問題も出題されている。

教育原理（特別支援教育，学習指導法等）のうち，特別支援教育ではDSM-5の神経発達症群の下位分類に関する問題がみられた。学習指導法では，学習の方法とその提唱者の組合せ問題が出題された。

生徒指導では，必出の「生徒指導提要」（2022年）から「第1章 生徒指導の基礎」のうち，生徒指導の目的が出題された。

教育時事では，「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」（2021年）から「第Ⅱ部 各論 2．9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について」が出題された。

教育法規では教育基本法や学校教育法，地方公務員法，教育公務員特例法，教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律が出題された。

教育心理ではアタッチメント，知能理論と提唱者の組合せ，言葉の発達に関する問題がみられた。人物に関する理論とその特徴を広く押さえたい。**教育史**では，我が国の義務教育の成立を問う問題が出題された。

〈一般教養〉は今年度，小学校資格認定試験Ⅱからの流用となった。このうち**人文科学**では国語（現代文読解）と英語（単語，文章読解）を中心とした出題となっており，今年度も同様であった。**社会科学**では例年，幅広い分野から出題されており，今年度は地理と政治，経済が出題された。**自然科学**では数学（空間図形等）や理科の各分野からの出題が比較的多い。今年度は数学（空間図形，数の計算，平面図形，その他）に加え，理科では物理（力）や化学（物質の状態（気体）），生物（恒常性の維持と調節）が出題された。